（様式SH03）

信 用 保 証 依 頼 書

サンプル

令和
西暦　　年　　月　　日

愛媛県信用保証協会　行

本申込について、審査の結果、貸付を適当と認めますので、保証制度要綱および同事務取扱要領を遵守のうえ信用保証を依頼します。

金融機関本・支店名		金融機関コード		代理貸	
		電話番号	（　　）　－		
代表者名		FAX番号	（　　）　－		
		担当部署・担当者			
		不在時連絡者			
申込人	協会顧客番号	事前相談受付番号			
	フリガナ	保証制度（略称）		責任共有対象	1 無 2 有〔①部分保証②負担金〕

貸付条件・内容等

貸付金額	1 個別 2 極度　　円	貸付予定日	年　月　日	
		期間または期日	か月、または　年　月　日	
資金使途	1 運転　2 設備　3 運転・設備	貸付利率	1 固定　2 変動	年　.　%以内
貸付形式	1 証書　2 手形　3 手形割引　4 公正証書　5 当貸（貸付専用型）　6 当貸（カードローン型）　7 電子記録債権割引			
返済方法 区分	1 一括　2 元金均等　3 元利均等（ローン）　4 不均等　5 当貸随時　6 当貸約定　7 商手落込			
返済条件	か月目から　か月目まで　か月毎　円 か月目まで　か月毎　円　初回・最終回　円 年　月　日から　か月毎　日に　円あて　回返済　初回・最終回　円 （不均等　）			

この貸付で完済する保証がある場合など 保証番号		保証料返戻預金口座 種類	1 普通　2 当座
		口座番号	－（　　）
		口座名義（カナ）	
割引残高有無	1 無　2 有　※割引根保証を更新する場合は、ご記入ください。		
連帯保証人	保証人等明細に記入のとおりとします。		
担保有無	1 無　2 有	担保種類	1 不動産　2 有価証券　3 商手　4 売債　5 その他（　　）
設定区分	1 協会　2 金融機関	担保流用区分	1 新規　2 既存（同条件）　3 既存（変更）
備考（担保明細等）	※新規設定の場合は、必ず「不動産登記簿謄本」等の資料を添付してください。既存（変更）の場合は、以下に内容等をご記入願います。 また、担保番号や保証番号が分かる場合にはご記入願います。		

当店取引状況

年　月　日現在の残高　（取引開始　預金　年　月／融資　年　月）

預金		融資		プロパー	保証協会付	保全状況		取引振り
当座	千円	区分						
普通	千円	貸付		千円	千円	不動産	千円	1 優　良
定期性	千円	割引		千円	千円	預金	千円	2 良
その他	千円	その他		千円	千円	その他	千円	3 普　通
合計	千円	合計		千円	千円	合計	千円	4 新　規

申込人状況

申込人（代表者）の事業経験・業界知識 1 十分ある　2 普通　3 やや不足している	金融機関所見 ※最近の業況、返済能力、経営者の人物、取組方針等
事業の将来性 1 有　2 やや有　3 横這い　4 下降・後退	
申込人（代表者）の計数観念（決算・業績把握度） 1 十分に有　2 普通　3 やや不足している	
立地条件（商業・サービス業）、取引先状況（製造業ほか） 1 良好　2 普通　3 不良	
今期中の焦付　1 発生していない　2 発生した （相手先　　千円）	

【確認状況記載欄】　「申込書の内容を申込人が理解し、申込意思に基づいて正しく記載されていること」について、次の通り確認しております。

確認年月日	確認時間	確認方法	金融機関確認者
年　月　日	時　分	1 電話　2 来店面談　3 訪問面談　4 その他（　　）	

サンプル

資格要件申告欄

当座貸越（貸付専用型）根保証又は事業者カードローン当座貸越根保証の場合は必ずご記入ください。

下記の通り「当座貸越（貸付専用型）根保証」又は「事業者カードローン当座貸越根保証」の資格要件に該当しており、今後とも当＿＿＿＿＿＿として、支援育成していきたい先であり、償還能力も認められます。

記

共通要件

（1）同一事業の業歴が3年以上で、2期以上の確定申告を行っている。

（2）当＿＿＿＿＿＿との与信取引が6か月以上ある。

当座貸越（貸付専用型）根保証

※該当する資格要件の番号を一つだけ○で囲んで下さい。

＜個人事業者＞

1. 保証申込直前期の決算における中小企業信用リスク情報データベース（CRD）によるスコアリングが基準以上である。
2. 当＿＿＿＿＿＿の信用スコアリングが前記CRD基準と同等以上である。
3. 確定申告が青色申告であり、申込直前期の決算において申告所得300万円以上を計上し、かつ自己名義の不動産（自宅・店舗等）を所有する。
4. 確定申告が青色申告であり、申込直前期の決算において申告所得100万円以上を計上し、不動産等物的担保の提供がある。

＜法人＞

1. 保証申込直前期の決算における中小企業信用リスク情報データベース（CRD）によるスコアリングが基準以上である。
2. 当＿＿＿＿＿＿の信用スコアリングが前記CRD基準と同等以上である。

事業者カードローン当座貸越根保証

※該当する資格要件の番号を一つだけ○で囲んで下さい。

＜個人事業者＞

1. 保証申込直前期の決算における中小企業信用リスク情報データベース（CRD）によるスコアリングが基準以上である。
2. 当＿＿＿＿＿＿の信用スコアリングが前記CRD基準と同等以上である。
3. 確定申告が青色申告であり、申込直前期の決算において申告所得を計上し、かつ自己名義の不動産（自宅・店舗等）を所有する。

＜法人＞

1. 保証申込直前期の決算における中小企業信用リスク情報データベース（CRD）によるスコアリングが基準以上である。
2. 当＿＿＿＿＿＿の信用スコアリングが前記CRD基準と同等以上である。

以上